

# 千葉大学グローバル人材育成戦略の推進と授業料改定について

## 1 趣旨

先般、千葉大学では、国際教養学部を中心に成果を上げてきている千葉大学のグローバル人材育成戦略を更に拡大展開するプランとなる「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”（Enhanced Network for Global Innovative Education）」を策定し、2020年度より新たに実施することを公表いたしました。

具体的には“学部・大学院生の全員留学”を目指し、留学プログラムや留学支援体制を一層強化するとともに、外国人教員の増員等による教育改革や、留学中でも科目履修が継続できる教育環境整備等を行ってまいります。

本学ではこれまで様々な経費節減や新たな自主財源の捻出等に努めてまいりましたが、このプランの実現のためにはどうしても新たな財源の確保が不可欠であることから、授業料を改定することといたしました。

千葉大学では、この安定的財源を基に、グローバル社会に通用する課題解決能力と多様な価値観を備えた人材の育成を今後更に加速させてまいります。また同時に、志ある学生が本学で学ぶ機会を失うことのないよう、学生に対する経済的支援の充実にも更に配慮してまいります。

## 2 実施時期及び引き上げ額

- ① 学部、修士・博士前期課程、専門職学位課程（専門法務研究科を除く。）  
2020年4月入学者より、現行535,800円を107,160円引き上げて年額642,960円とする。
- ② 博士後期課程  
2020年4月入学者より、現行520,800円を122,160円引き上げて年額642,960円とする。

## 3 予定使途（主なもの）

以下の千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”に策定された取組を中心に充当する。

- ① 学生の海外留学を加速させるために必要となる取組
- ② ICTを活用した多方向個別学修システム（スマートラーニング）の実践により、留学中でも科目履修を可能にするばかりでなく授業外学修等を強化するための取組
- ③ コミュニケーション英語及び専門英語を充実させるための取組

## 4 学生支援の充実

授業料の引き上げにより教育の機会均等の確保が損なわれないよう大学の自己収入などの財源を用いて次の手当てを講じる。

- ① 授業料減免者に対して引上げ額を含めて減免
- ② 留学奨学金の給付
- ③ 大学独自の奨学金制度による低所得者への支援
- ④ 優秀な学部生・大学院生に対するワーク・スタディ（ティーチング・アシスタントなどの採用での給与付与）による経済的支援